

## 次世代計算基盤部会における今後の検討の進め方（案）

- これまでの情報委員会提言等を踏まえつつ、関連する有識者からのヒアリングを行いながら、次世代計算基盤に対する考え方の方向性を示すことを目標として検討を進める。（今年夏頃に中間まとめを予定）

## 【関連する提言】

- ・ 次世代の学術情報ネットワークとデータ基盤整備の在り方について（R2.7 次世代計算基盤検討部会次世代学術情報ネットワーク・データ基盤整備作業部会）
- ・ コロナ新時代に向けた今後の学術研究及び情報科学技術の振興方策について（R2.9 情報委員会）
- ・ 第6期科学技術基本計画に向けた今後のHPCIの方向性に関する検討論点まとめ（R1.10 情報委員会）
- ・ 将来のHPCIの在り方に関する検討ワーキンググループ報告書（R1.6 HPCI計画推進委員会将来のHPCIの在り方に関する検討WG）等

## ● 想定される論点・ヒアリングすべき事項

- ① 「情報基盤」全体における「計算基盤」の役割
  - ・ 将来を見通した意義、必要性
  - ・ 研究開発の現場でどのように役立っているか 等
- ② 「計算基盤」の活用（計算科学技術）により期待される成果
  - ・ 将来どのような成果が期待されるか。
  - ・ どのように成果が社会実装、国民生活へ還元されているか 等
- ③ 科学界、産業界等における今後のニーズ
  - ・ 科学技術の各分野で何が求められているか
  - ・ 企業が現状求めているもの、今後求めるものは何か
  - ・ AI、データサイエンスに関するニーズ 等
- ④ 我が国における「計算基盤」のあり方
  - ・ システム、アプリケーションの技術動向
  - ・ 大学の基盤センター、研究開発法人におけるスパコンの役割・必要性
  - ・ フラッグシップシステムの役割・必要性
  - ・ システムの運用、ユーザーによる利用のあり方
  - ・ 分野振興
  - ・ 人材育成 等